

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 心房細動アブレーションの再発予測における深層学習による評価(アブレーション治療1年後の再発)』

研究機関名 東邦大学医療センター 大橋病院

研究責任者 循環器内科 職位・氏名 講師 中村啓二郎

【研究の目的】

東邦大学医療センター 大橋病院 循環器内科では、心房細動に対してカテーテルアブレーション治療をおこなっております。カテーテルアブレーション治療は、足の付け根の静脈からカテーテルを挿入して、心房細動の原因となる肺静脈に迷入した心筋を高周波によって焼灼し、これにより、心房細動を根治する治療です。しかし、カテーテルアブレーションを行っても再発する患者さんが存在し、その再発率は20%程度と報告されています。再発のリスク因子として、心房の拡大化が大きくかかわっている事が知られており、今回、再発リスクを従来の統計手法ではなく、近年、注目されている深層学習を用いてリスク因子を予測することが可能かどうか検証することを目的として本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、今後の日本人での心房細動患者さまの治療に有益な情報を与えることにつながります。

【研究対象および方法】

この研究は、(医学部／東邦大学医療センター大橋病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者:2016年6月～2020年6月までに東邦大学医療センター大橋病院循環器内科において、心房細動の診断にてカテーテルアブレーション治療を受けた方。研究対象者数は400人を予定しています。

方法:これまでの診療録のデータから抽出した臨床情報と心電図データを収集、得られたデータにおける心房細動の再発のリスク因子について解析を行います。会津大学の情報システム学部門・先端情報科学研究センターに個人情報を含まない診療データ(臨床情報)の提供を行い、深層学習を用いて解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

試料:身長、体重、血液データ、心電図、心エコー検査値 等

情報:病歴、診療の治療歴、術後経過 等

【外部への試料・情報の提供】

会津大学の情報システム学部門・先端情報科学研究センターに、個人情報がわからない形で臨床情報を提供し、統計学的な解析を行います。

【研究組織】

○代表施設名:東邦大学医療センター 大橋病院

研究代表医師:中村 啓二郎 役職: 講師

○共同研究施設名:会津大学 情報システム学部門・先端情報科学研究センター

研究代表医師:朱 欣 役職: 上級准教授

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方または代理人の方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科

職位・氏名 講師 中村 啓二郎

電話 03-3468-1251 内線 7125